

大阪関西万博2025は 失敗々!!

其の1: コシが、「命輝く未来社会のデザイン」?

メタンガス

- ・爆発事故(2024.3.28)
- ・テストランでも基準値超検知

万博協会は『今日のメタン』みたいに、来場者に分かりやすく知らせる」と言っていたのに、HPの目立たないところに『安全にお越しいただけます』のみ。

爆発を防ぐため、会場のマンホールの蓋の344か所を穴あき蓋に交換、さらに61か所をグレーチング蓋に変更して排出促進。来場者をメタン・一酸化炭素・硫化水素・アンモニアなど有毒ガスにさらし続けている。さらに、排出量の多いガス抜き管の計測をやめ、測定数値の公表も止め、隠蔽。

4/13~7/29 までの会場外への 救急搬送 363 件

主な症状：意識障害・呼吸困難・頭痛・嘔吐・痙攣など・・・熱中症のほか、有毒ガスやレジオネラ属菌が原因の可能性も懸念され

1 万人以上帰宅できず

8/13 中央線不通のため、5万人近くが深夜まで足止め。33人が病院に搬送。多くの方が屋外の地べたで寝るなどして夜を明かした。水が配布されたのは翌朝4時。

能登半島地震被災地 支援後回し

・国の予算支出：
被災者支援(約1兆円) ⇔ 万博(約13兆円)

・大阪府市からの派遣職員：
被災地(22名) ⇔ 万博(351名)

※東日本大震災では252名)

未払い問題

11の海外パビリオンで発生 連鎖倒産と生命の危機

大手ゼネコンが「間に合わない」と言って手を引いたのに、吉村知事が「絶対間に合わせる」と言って直接お願いしたのに応え、昼夜を問わず働き、ダイオキシン・ヒ素・フッ素・PCB・セシウムが埋まっている、軟弱地盤での難工事をやりとげ貢献したのに、「民民の問題だ」と未だ支援せず。

「万博協会の無策が引き起こした」と報道されている。博覧会史上、前代未聞。

レジオネラ属菌 ウォータープラザ・静けさの森 の人工池で検出

ウォータープラザの水は産業廃棄物からの浸出汚水も流れ込んでいる。

大量の塩素で殺菌後、噴水ショーを再開。池では子どもたちが水遊びしている。レジオネラ菌を完全になくすことは不可能との専門家の声も・・・他にも、ドライミスト・太陽のつぼみサウナ・その他の噴水施設の、保健所による水質検査結果も未公開。レジオネラ菌・大腸菌・残留塩素、などの数値結果は真っ黒に塗りつぶされている。

シオユスリカ大発生

夢洲に生息していた絶滅危惧種を含む、鳥類113種、植物193種、昆虫104種を追い払って、万博とIRカジノ用地にしたため、シオユスリカの捕食生物がいなくなったのが原因。結局、シオユスリカは、大量の殺虫剤で殺傷された。